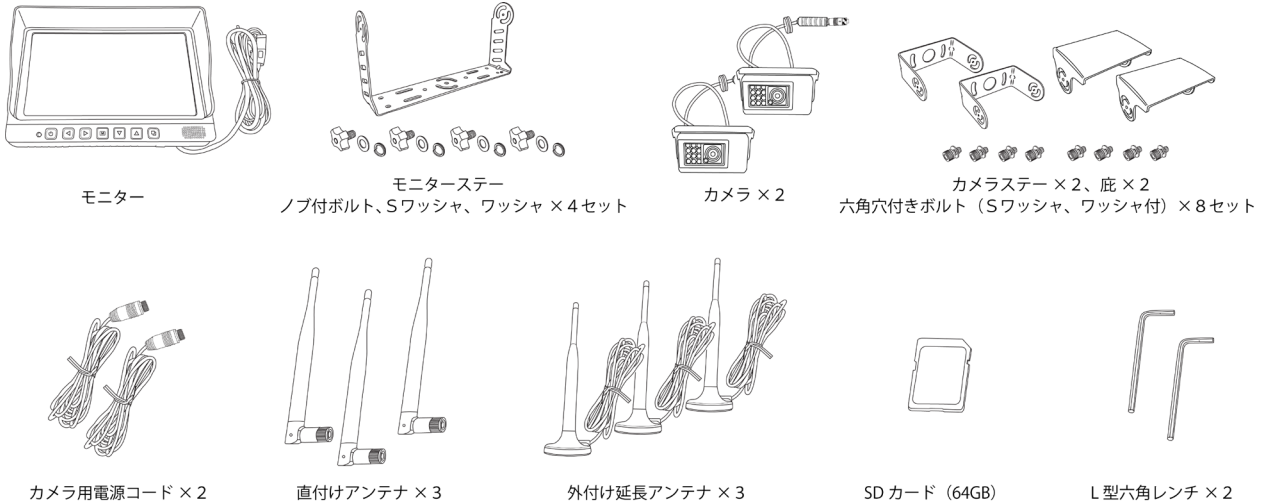


取扱説明書

シャッター付ワイヤレス・バックカメラセット 2カメラ仕様

品番：#1120855000 型式：P967-2

1, セット内容



2, 取り付け、配線方法

- ※車両への装着・加工作業を行なう前に、必ず作動テストを行ってください。
- ※『3, 使用方法 ●ペアリング（登録）方法』を参考にモニターとカメラのペアリング（登録）作業を行ってください。
- その際、モニターのチャンネル“CAM1”へバックカメラとして使用するカメラを登録してください。
- ※作動テストは、モニター／カメラにアンテナを取り付けてから行ってください。また、本設置前に取り付け予定位置へモニター／カメラを仮設置し再度作動テストを行い、正常に作動する事を確認してください。
- ※図1を参考に、本商品を車両に接続してください。
- ※外付け延長アンテナを使用する場合は、出来るだけ外付け延長アンテナ同士を近付けて設置してください。
- ※車両へ装着する2台のカメラ同士・外付け延長アンテナ同士は、それぞれ**2m以上の距離を開けて設置**してください。距離が近いと電波が途切れたり、遅延する恐れがあります。

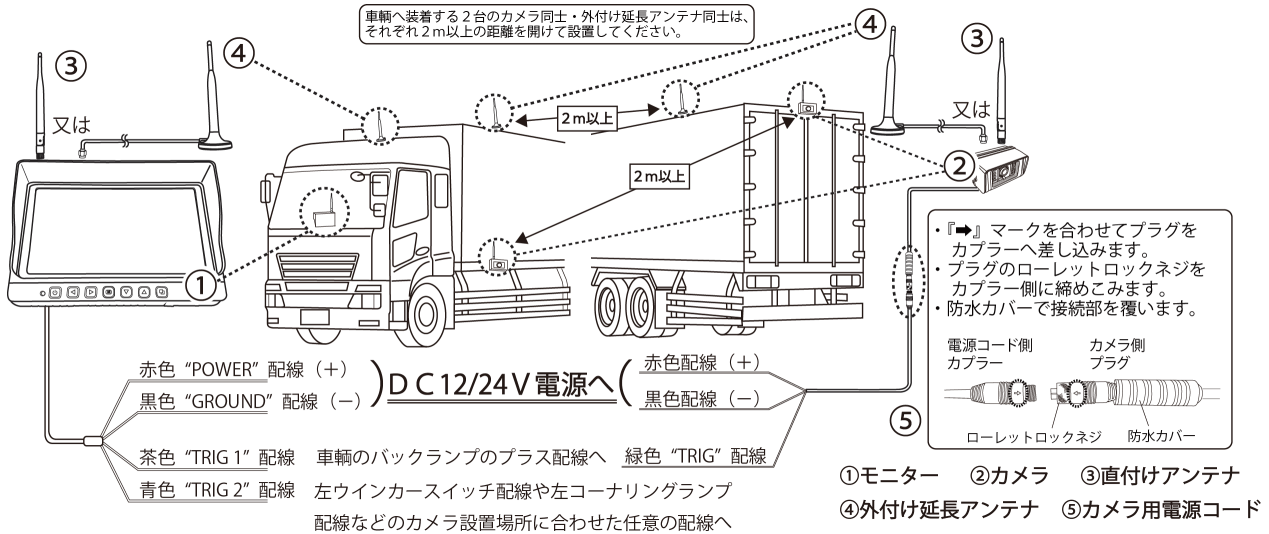


図 1

●SDカードの挿入・取り出し方法

- ※本商品の電源が切れていることを確認してから作業を行ってください。
- ※本商品は、34GB/64GBのSDカードに対応しています。
- ①モニター背面のSDカードスロットカバーを上方向に押し上げて取り外してください（図2参考）。
- ②SDカードのイラスト面の向きを確認し、SDカードスロットに“カチ”と音がするまで差し込んでください（図3参考）。
- ③SDカード挿入後に、SDカードスロットカバーを再度取り付けしてください。
- ④取り出す際は、SDカードスロットに挿入されているSDカードの上端を、“カチ”と音がするまで奥へ軽く押し込んでください。SDカードを取り出す事ができます（図4参考）。

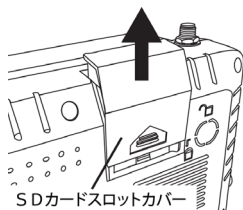


図 2

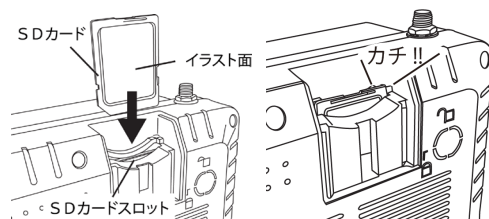


図 3

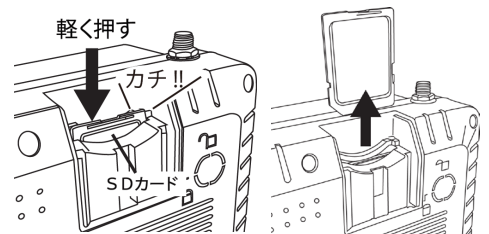


図 4

●モニター取り付け、配線方法

- ①必要に応じて、モニター電源コードや外付け延長アンテナのコードを通す穴及び、ステーを固定する穴の位置決めをして、穴開け加工を行ってください。
- ②別売のビスなどを使用して、ダッシュボードなどの取り付け位置へモニターステーを確実に固定してください(図5-A参考)。
- ③②で取り付けしたモニターステーに付属のノブ付ボルト、Sワッシャ、ワッシャ×4セットを使用してモニターを仮固定してください(図5-B参考)。
- ④直付けアンテナを使用する場合は、モニター上面のアンテナ接続端子へ時計回転方向に回して確実に締め込んでください。直付けアンテナで電波が届かない場合は、外付け延長アンテナを使用してください。車外に外付け延長アンテナを設置し、コードを①で開けた穴に通して車内に引き込み配線してください。続いて、外付け延長アンテナの端子をカメラ上面のアンテナ接続端子へスペーサーなどを使用して時計回転方向に回して確実に締め込んでください(図5-C参考)。
※外付け延長アンテナの底面は、マグネット式になっています。マグネットが付かない箇所へ取り付けする場合は、延長アンテナ底面のスポンジシートを剥がし、両面テープや接着材などを使用して確実に取り付けしてください。
- ⑤モニターを任意の角度に調整し、③で取り付けしたノブ付ボルト、Sワッシャ、ワッシャ×4セットを本締めしてください。
- ⑥モニター電源コードの赤色“POWER”配線をDC12/24V車輛の陽極(+)側へ、黒色“GROUND”配線を陰極(-)側に、必ず絶縁処理を施して確実に接続してください(図1参考)。
- ⑦モニター電源コードの茶色“TRIG1”配線を車輛のバックランプのプラス配線へ確実に接続してください(図1参考)。また、モニター電源コードの青色“TRIG2”配線を車輛の左ウインカースイッチ配線や左コーナリングランプ配線などのカメラ設置場所に合わせた任意の配線へ確実に接続してください(図1参考)。
※茶色“TRIG1”配線、青色“TRIG2”配線は、モニター電源と同電圧の配線へ接続してください。
※茶色“TRIG1”配線、青色“TRIG2”配線を、赤色“POWER”配線とともにアクセサリ電源や常時電源に接続すると、映像調整及び、セットアップが出来ません(『3、使用方法 ●ディスプレイの映像調整及び、セットアップ方法』参考)。

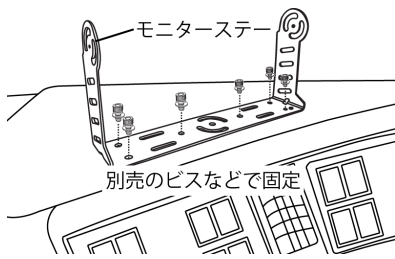


図5-A

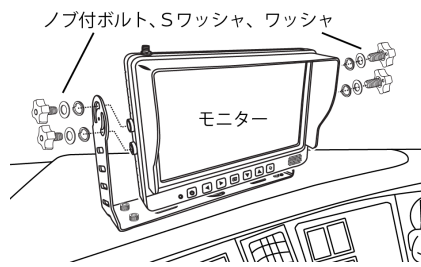


図5-B

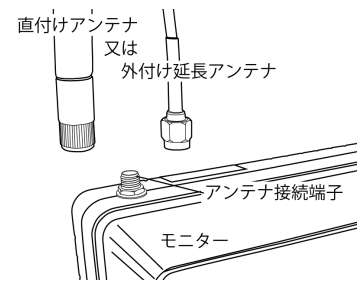


図5-C

●カメラ取り付け方法

- ①必要に応じて、カメラコードや外付け延長アンテナコードを通す穴及び、ステーを固定する穴の位置決めをして、穴開け加工を行ってください。
※モニターのチャンネル“CAM1”とペアリング(登録)作業したカメラをバックカメラとして使用してください。
※グロメットの適応サイズは、φ20mmです。
- ②カメラコードを①で開けた穴に通して、カメラコードのプラグとカメラ用電源コードのカブラーの『▶』マークを合わせて、奥まで確実に差し込んでください。そして、**カメラコードのプラグのローレットロックネジを時計回転方向に回して確実に締め込んでください。締め込み確認後、防水カバーで接続部を覆ってください**(図1参考)。
締め込みが不完全な場合、中に水が入り、故障の原因になります。
- ③直付けアンテナを使用する場合は、カメラ背面のアンテナ接続端子へ時計回転方向に回して確実に締め込んでください。直付けアンテナで電波が届かない場合は、外付け延長アンテナを使用してください。外付け延長アンテナのコードを①で開けた穴に通して車内に引き込み配線してください。続いて、外付け延長アンテナの端子をカメラ背面のアンテナ接続端子へスペーサーなどを使用して時計回転方向に回して確実に締め込んでください(図6-A参考)。
※外付け延長アンテナ底面はマグネット式になっています。マグネットが付かない箇所へ取り付けする場合は、延長アンテナ底面のスポンジシートを剥がし、両面テープや接着材などを使用して確実に取り付けしてください。
- ④別売のビスなどを使用して、車輛の取り付け位置へカメラステーを確実に固定してください(図6-B参考)。
- ⑤④で取り付けしたカメラステーに付属の六角穴付きボルト(Sワッシャ、ワッシャ付)×4セットを使用して底・カメラを仮固定してください(図6-C参考)。
- ⑥カメラを任意の角度に調整してから、⑤で取り付けした六角穴付きボルト(Sワッシャ、ワッシャ付)×4セットを本締めしてください。
- ⑦カメラ用電源コードの赤色“POWER”配線をDC12/24V車輛の陽極(+)側へ、黒色“GND”配線を陰極(-)側に、必ず絶縁処理を施して確実に接続してください(図1参考)。
- ⑧カメラ用電源コードの緑色“TRIG”配線を車輛のバックランプのプラス配線へ確実に接続してください(図1参考)。
※緑色“TRIG”配線は、モニター電源と同電圧の配線へ接続してください。
- ⑨カメラ用電源コードを車内配線する際は、カメラコードとカメラ用電源コードの**接続部は、極力ボディの外には出さない**でください。又、コードを無理に折り曲げたり、挟まないでください。

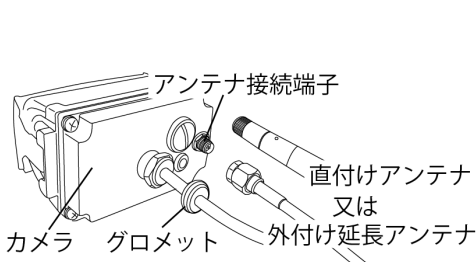


図6-A

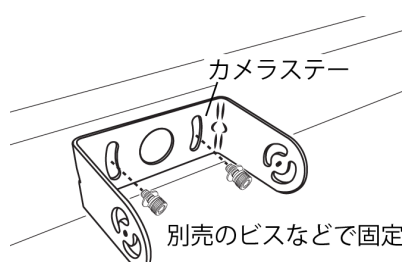


図6-B

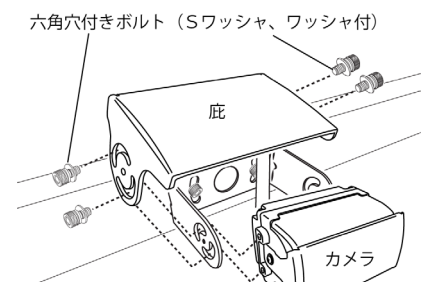


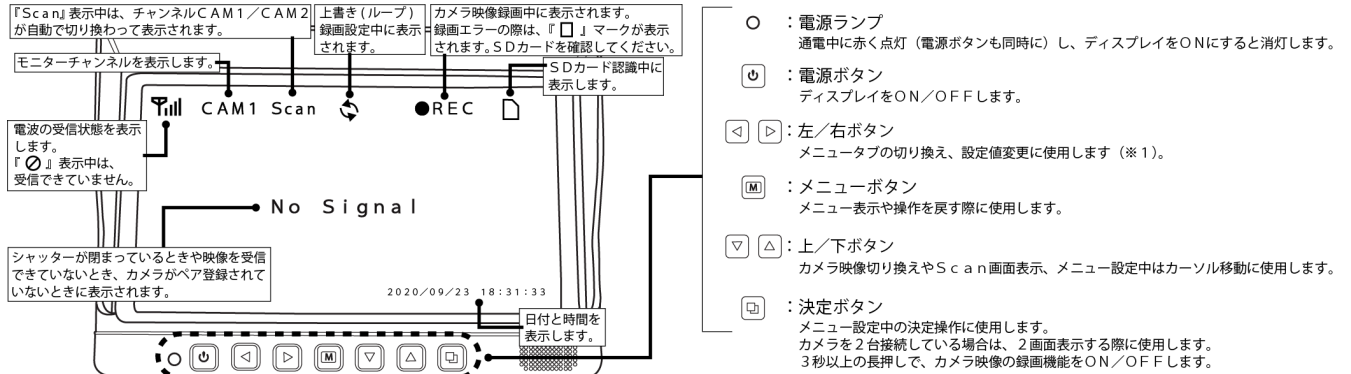
図6-C

3、使用方法

●電源のON/OFF

- ①『2、取り付け、配線方法』の手順通りに配線された状態で、車輛のエンジンを始動させてください。
- ②エンジンが始動すると、モニターが起動しディスプレイに“N o S i g n a l”と表示されます(図7参考)。
※初めて使用する際は、『●ペアリング(登録)方法』を参考にモニターとカメラの登録を行ってください。
- ③②の状態、モニター電源コードの茶色“TRIG 1”配線を、車輛のバックランプに連動している配線に接続している場合は、車輛のシフトレバーを“R”に切り替えるとカメラのシャッターが開き、カメラ映像がチャンネル“CAM1”に映し出されて起動します。
また、青色“TRIG 2”配線を、車輛の左ウインカースイッチ配線に接続している場合は、左ウインカーが作動するとカメラのシャッターが開き、カメラ映像がチャンネル“CAM2”に映し出されて起動します。
- ④車輛のシフトレバーを“R”以外へ切り替え/左ウインカー消灯中はカメラのシャッターが閉じ、モニター映像は消え、ディスプレイに“N o S i g n a l”と表示されます(図7参考)。
- ⑤エンジンを停止すると同時に本商品の電源もOFFとなります。
- ⑥ディスプレイの表示が必要無い場合は、モニターの“電源ボタン”を押してディスプレイをOFFにしてください(図7参考)。
ディスプレイがOFFの状態でも、車輛のシフトレバーを“R”へ切り替え/左ウインカー作動中はカメラのシャッターが開き、カメラ映像が映し出されて起動します。

●ディスプレイ表示と各ボタン機能



※1：本商品のカメラはマイク非内蔵タイプの為、音量調整のセットアップは出来ません。

図7



メニュータブ一覧画面

- ☰ : モニターとカメラのペア登録を行います。
- 📷 : ディスプレイ表示の映像調整を行います。
- 🔄 : カメラ映像の反転表示の設定を行います。
- 🔄 : カメラ映像の自動切換表示の設定を行います。
- ⚙️ : ディスプレイ表示の各種設定を行います。
- 📄 : SDカードの使用状況確認や録画設定を行います。
- 🎵 : 録画したファイルの確認を行います。
- 🕒 : 1ファイルあたりの録画時間の設定を行います。

図8

●ペアリング(登録)方法

下記手順を参考にモニターとカメラのペア登録を行ってください。

※ペアリング(登録)作業は、車輛へ取り付けする前(モニターとカメラが近くにある状態)に行ってください。

※ペアリング(登録)作業の際、モニターのチャンネル“CAM1”へバックカメラとして使用するカメラを必ず登録してください。

※モニターとカメラに直付けアンテナを取り付けてからペアリング(登録)作業を行ってください。

- ①『2、取り付け、配線方法』を参考に、モニターとバックカメラとして使用するカメラをDC12/24V電源へ接続してください。この際、カメラ用電源コードの緑色“TRIG”配線もDC12/24V電源のプラス配線へ接続してください。
- ②『●電源のON/OFF』を参考にし、モニターとカメラを起動させてください。この際、カメラのシャッターが開いていることを確認してください。
- ③“上/下ボタン”を押して、チャンネルを“CAM1”に設定してください(図7参考)。
- ④“メニューボタン”でメニュータブ一覧画面を表示し、“左/右ボタン”で“ペアリング設定”にカーソルを合わせ、“決定ボタン”を押してください(図8、表1参考)。
- ⑤ディスプレイに“PAIRING START”と、50秒間のカウントダウンが表示され、ペアリング作業が開始します。
※ペアリング作業中は、“左ボタン”が緑色に点滅します。
- ⑥ペアリング作業が完了すると、登録されたカメラ映像がディスプレイに映し出されます。
- ⑦同様の手順で、モニターのチャンネル“CAM2”へもう一台のカメラのペアリング(登録)作業を行ってください。

●録画設定方法

本商品では、モニターへ表示しているチャンネルのカメラ映像をモニター内のSDカードへ録画することができます。

※2台のカメラ映像を録画する場合は、2画面又はScan画面を表示してください。

※『●ディスプレイの映像調整及び、セットアップ方法』で設定した録画時間ごとに、ファイルを分割して連続で録画します。また、録画設定で“OVERWRITE”をONにすることで、古いファイルから順に消去して上書き録画を続けます(表1参考)。

- ①モニターのSDカードスロットへSDカードが挿入されていることを確認してください(図2、3参考)。
- ②『●電源のON/OFF』を参考にし、モニターを起動させてください。
- ③ディスプレイにカメラ映像が映し出された状態で、“決定ボタン”を3秒以上押すと録画が開始されます。録画が開始すると、ディスプレイ上部に“●REC”と表示されます(図7参考)。
- ④録画を停止する場合は、再度“決定ボタン”を3秒以上押してください。録画が停止すると、“●REC”は非表示となります。また、シャッターが閉じると数秒後に録画は自動停止します。

●ディスプレイの映像調整及び、セットアップ方法

※茶色“TRIG 1”配線、青色“TRIG 2”配線を、赤色“POWER”配線とともにアクセサリ電源や常時電源に接続すると、ディスプレイの映像調整及び、セットアップが出来ません。

※本商品の電源が入った状態で、モニターの“左/右ボタン”を押すと音量調整のセットアップが表示されます。本商品のカメラはマイク非内蔵タイプの為、セットアップは出来ません。

- ①モニターの“メニューボタン”を押して、メニュータブ一覧画面を表示してください（図8参考）。
- ②“左/右ボタン”でセットアップしたいタブを選択し、“決定ボタン”で確定してください。
- ③“上/下ボタン”でメニュー項目を選択し、“決定ボタン”で確定してください。
- ④“左/右ボタン”で調整、セットアップすることができます（※下記表1の内容を参考にしてください）。
- ⑤調整後に“メニューボタン”又は“決定ボタン”を押すことで内容が保存されます。





























タブ名称	メニュー項目	機能説明
ペアリング設定 	-	モニターとカメラのペア登録を行います。
映像調整 	 Brightness	画面の明るさを調整します（0-9）。
	 Contrast	画面の明暗を調整します（0-9）。
	 Color	画面の彩度を調整します（0-9）。
反転表示設定 	 正位置  左右反転  上下反転  上下左右反転	画面の上下左右を反転します（4パターン）。
自動切替表示設定 	 CAM1 Scan	ONにすると『Scan』画面でモニターのチャンネル“CAM1”、“CAM2”を自動で切り換えして表示します。
	 CAM2 Scan	
	 切替時間	自動切替の時間設定を行います（5秒間隔、最大45秒）。
各種設定 	 日時	日付/時間の設定を行います。
	 放送規格	※NTSCに設定してください。
	 Night/Day	ONにするとNightモードになり画面が暗くなります。 OFFにするとDayモードになり画面が明るくなります。
	 ガイドライン（ライン固定式）	CAM1チャンネルのガイドライン表示の設定を行います。
録画設定 	 TOTAL	SDカードの容量が表示されます。
	 REMAIN	SDカードの空き容量が表示されます。
	 OVERWRITE	上書き（ループ）録画の設定を行います。 設定中は、モニターに『  』が表示されます。
	 FORMAT	SDカードのフォーマットを行います。
ファイルの再生 	-	ファイルの再生を行います。 ※詳細は、『●ファイルの再生方法』を参考にしてください。
録画時間設定 	 ファイル構成時間	1ファイルあたりの録画時間の設定を行います（5MIN/10MIN）。

表1

●ファイルの再生方法

- ①モニターの“メニューボタン”を押して、メニュータブ一覧画面を表示してください（図8参考）。
- ②“左/右ボタン”で“ファイルの再生”を選択し、“決定ボタン”で確定してください（図8、表1参考）。
- ③ディスプレイに図9の画面が表示されますので、“決定ボタン”を押してください。
- ④ディスプレイに“録画日ごとのフォルダー”が一覧表示されます。“上/下ボタン”、“左/右ボタン”で確認したいフォルダーへカーソルを合わせ、“決定ボタン”で確定してください（図10参考）。
- ⑤続いて、ディスプレイに“録画時間ごとのファイル”が一覧表示されます。“上/下ボタン”、“左/右ボタン”で確認したいファイルへカーソルを合わせ、“決定ボタン”で確定してください（図11参考）。
- ⑥ディスプレイに録画ファイルが映し出され、再生が開始されます。
- ⑦録画ファイル再生中に“決定ボタン”を押すと、再生を一時停止することができます、再度押すと再生が再開されます。
また、録画ファイル再生中に“メニューボタン”を押すと、再生を停止することができます（図7参考）。

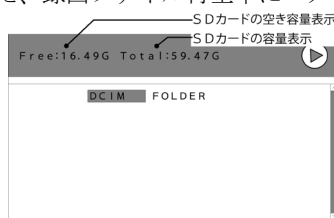


図9

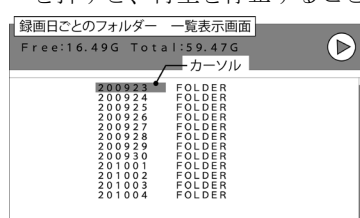


図10

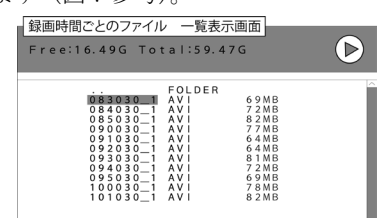


図11

4, バックアップ方法

SDカードに保存された録画ファイルのバックアップは、定期的に作成してください。

- ①カードリーダーなどを利用してSDカード内のファイルをパソコンで読み込んでください。
- ②読み込み後“DCIM”フォルダーを開いてください。
- ③“録画日ごとのフォルダー”が一覧表示され、フォルダーを開くと“録画時間ごとのファイル”が一覧表示されます。
- ④保存したい録画ファイルをコピーし、パソコン内でバックアップを作成してください。

5, SDカードのフォーマット方法

初めて使用する際は、必ず本商品を使用してSDカードのフォーマットを行ってください。また、SDカードに保存されたファイルは、バックアップして、定期的（1週間に1回推奨）に本商品を使用してフォーマットしてください。

※フォーマットをする際は、録画を停止してから行ってください。

※**フォーマットすると、SDカード内の全てのファイルが消去されます。**ご注意ください。

- ①モニターの“メニューボタン”を押して、メニュータブ一覧画面を表示してください（図8参考）。
- ②“左/右ボタン”で“録画設定”を選択し、“決定ボタン”で確定してください（図8、表1参考）。
- ③“上/下ボタン”で“FORMAT”にカーソルを合わせ、“決定ボタン”を押してください（表1参考）。
- ④“左/右ボタン”で“YES”を選択し、“決定ボタン”でフォーマットを実行してください。

6, トラブルシューティング

故障かなと思ったら

症状	原因	対策・確認方法
モニターの電源が入らない	車輻イグニッションがOFF	車輻イグニッションをONにしてください。
	配線の接続不良	『2, 取り付け、配線方法』を確認の上、配線の結線箇所を確認してください。
	アース（黒色配線）の接続不良	黒色“GROUND”配線（-）の取り付け状態を確認してください。取り付け箇所に塗装や、錆等がある場合は確実なアースを取る事が出来ません。
ディスプレイにカメラ映像が映し出されない (No Signal 表示)	配線の接続不良	『2, 取り付け、配線方法』を確認の上、配線の結線箇所及び、カメラコードのプラグとカメラ用電源コードのカプラーとの接続箇所を確認してください。
	カプラープラグの不良	カメラコードのプラグとカメラ用電源コードのカプラー内に錆、腐食、及びピン折れ等が無い事を確認してください。
	チャンネルの設定不良	『2, 取り付け、配線方法』、『3, 使用方法』を確認の上、ペアリング（登録）したチャンネルに切り替えてカメラの映像を映し出してください。
	ペアリングできていない	『3, 使用方法』を確認の上、ペアリング（登録）を行ってください。
	無線電波の受信不良	・アンテナの向きを変更又は、『2, 取り付け、配線方法』を確認の上、外付け延長アンテナへ交換してください。 ・周囲の電気機器から離して設置してください。 ・車輻へ装着する2台のカメラ同士・外付け延長アンテナ同士を、それぞれ2m以上の距離を開けて設置してください。
周囲環境の電波状態が悪い	車輻を移動させて、映像が映し出されるか確認してください。	
ディスプレイの映像が不鮮明に映し出される	画像調整不良	『3, 使用方法 ●ディスプレイの映像調整及び、セットアップ方法』に従い、再度セットアップしてください。
	カメラレンズの汚れ	カメラレンズを柔らかい布等で拭いてください。
	ノイズの影響	ノイズを発生する電気機器から離して設置してください。
暗視機能が作動しない	カメラと地面の距離が不足	カメラと地面の距離が100mm以内の場合は、正常に作動しません。

※配線とは、モニター電源コード、カメラコード、カメラ用電源コード、外付け延長アンテナを指します。

●保証対象外となる不具合内容

- ・配線、カメラコードのプラグ、カメラ用電源コードのカプラーに断線、腐食、及び錆があるもの。
- ・カメラコードのプラグ、カメラ用電源コードのカプラーの接続不良によりピンが折れ曲がっているもの。
- ・外的要因により破損しているもの。
- ・改造されたもの、又は改造された形跡があるもの。
- ・配線ミスにより破損しているもの。
- ・当社の指示とは異なる取付方法、使用方法で故障したもの。
- ・カメラコードの皮覆破れによりカメラが浸水しているもの。
- ・SDカードは消耗品の為、保証対象外となります。

7, 注意事項

△危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う事になるもの。)

- ①**運転中に本商品の操作、ディスプレイの注視は絶対にしない**でください。交通事故、交通違反の原因になります。操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
- ②本商品の各構成部品、**配線、コードは、運転、走行の支障にならない位置に、確実に固定**してください。配線、コードがブレーキペダル、駆動系統に絡まり、事故の原因になります。
- ③本商品の電源電圧は、**DC12/24V**です。その他の電圧で使用すると火災や感電、故障の原因になります。
- ④**道路運送車両法を遵守**して、本商品の取り付け、使用を行なってください。

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

- ①必ず、**車輛のエンジンを停止させてから、取り付け**作業を行なってください。
- ②分解、修理、改造は行わないでください。発火したり、異常作動を起こして、ケガをする恐れがあります。
- ③本商品の作動に異常 (異常な音や臭い/煙/破損/水や異物の混入/作動不良等) がある場合は、直ちに使用を中止してください。火災などの原因になります。
- ④濡れた手で本商品の操作、配線作業をしないでください。感電、ショート、火災の原因になります。
- ⑤本商品の内部に金属や異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因になります。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①**モニターは防水仕様ではありません**。屋外や水に濡れるような場所には設置しないでください。
- ②本商品を取り付けする際は、必ず付属部品を使用してください。
- ③モニター、カメラ、外付け延長アンテナの取り付けは、走行中に落下しないように、確実に行ってください。
- ④モニター電源コード及び、カメラ用電源コードと車輛の接続には、ギボシ端子等を使用し、確実に絶縁処理をしてください。
- ⑤本商品に強い衝撃を与えないでください。衝撃により製品の破損や故障の原因になります。
- ⑥モニターの空気通気口を塞がないでください。故障の原因になります。
- ⑦本商品の**動作温度範囲は-10℃~70℃、保管温度範囲は-20℃~80℃**です。その他の温度で使用、保管すると、製品の変形及び、火災、爆発の原因になります。
- ⑧本商品使用時に**他の無線通信機器へ電波干渉などの影響を及ぼす恐れがあります**。また、周囲の環境によっては、**電波が途切れたり、遅延などの電波障害が発生する恐れがあります**。予め、ご了承ください。
- ⑨本商品をアンテナやGPSを使用する電気機器付近に設置すると、電波の干渉により録画されたファイルにノイズが発生、ファイル損失する恐れがあります。本商品と離して設置する事でノイズが軽減されます。
- ⑩**本商品の近くに磁気性がある物を置かない**でください。製品の誤作動及び故障の原因となります。
- ⑪医療用電気機器の付近では使用しないでください。電波により、何らかの影響を与える恐れがあります。
- ⑫本商品はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ⑬急激に明るさが変化する場合や逆光が強い場合、夜に光源がない場合等の条件下では録画品質が落ちる恐れがあります。また、天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車輛後方の状況を正しく認識できない恐れがあります。
- ⑭本商品の故障や使用による損害、また録画されたファイルの破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ⑮本商品で録画された被写体等は、プライバシーの侵害となる恐れがあります。取り扱いにご注意ください。
- ⑯SDカードは、必ず本商品の電源が切れていることを確認してから取り外してください。
- ⑰初めて使用する際は、必ず本商品を使用してSDカードのフォーマットを行ってください。
- ⑱SDカードに保存されたファイルは、バックアップして、**定期的 (1週間に1回推奨) に本商品を使用してフォーマットしてください**。外部環境、又は長期間使用している間に、ファイルが消去される恐れがあります。

- ⑲SDカードをフォーマットする際は、必ずSDカード内の必要なファイルを、パソコンのハードディスク等に保存してください。
フォーマットをすると、SDカード内の全てのファイルが消去されます。
- ⑳フォーマット及び動作中にはSDカードの抜き差しはしないでください。録画したファイルの損傷、本商品破損の原因になります。
- ㉑SDカードをフォーマットする際は、必ず本商品のフォーマット機能を使用してください。
- ㉒市販品の新しいSDカードを使用する際は、最初に本商品を使用してフォーマットしてください。
- ㉓本商品で使用するSDカードに他のファイルを保存したり、他の機器に使用しないでください。正しく作動しなくなる恐れがあります。
- ㉔SDカードに保存されたファイルが何らかの原因により破損や消去された場合、当社では一切の保証、復元は出来ません。
予め、ご了承ください。
- ㉕SDカードには寿命があります。長期間使用していると正常な録画ができない恐れがあります。不具合が発生した場合は、新しい指定のSDカードと交換してください。
- ㉖SDカードは消耗品の為、保証対象外となります。
- ㉗本商品は、34GB/64GBのSDカードに対応しています。但し、全てのSDカードに対して動作を保証するものではありません。
- ㉘本商品は、モニターのディスプレイに表示されている映像のみSDカードへ録画されます。
- ㉙定期的にカメラのレンズを柔らかい布等で拭いて、汚れを取り除いてください。
- ㉚本商品の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。表面の変質や塗料が剥げることがあり、故障及び火災の原因となります。
- ㉛万一の故障による、本商品の取り外し費用、及び取り付け費用は、お客様のご負担になります。予め、ご了承ください。
- ㉜他のバックカメラ、ミラーモニターへの互換性、動作については保証出来ません。
- ㉝本商品は車輛後方周辺の確認補助装置です。その他の用途には使用しないでください。
- ㉞本商品は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。

※本商品は、事前に電波法に基づく工事設計認証（電波法第38条の24）に定められた無線通信設備に関する規則要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。

工事設計認証番号



修理申込専用用紙

ご記入日 年 月 日

- ※購入後3年の品質保証期間内で無償修理を希望される場合は、事前にご連絡ください。
当社より引取便を手配いたします。
- ※有償修理を希望される場合は、送料はお客様負担となります。
ご了承ください。商品送付前に「必ず」ご連絡いただき、送付先の確認をしてください。
- ※本書の「コピー」を修理品に同梱し、送付してください。

株式会社 パーマンコーポレーション

〒550-0021 大阪市西区川口4-1-5
〒121-0836 東京都足立区入谷6丁目2-7
〒729-0419 広島県三原市南方2-5-1

 TEL 0120-202-800
FAX 0120-200-201

ご住所	〒		
お名前 (法人名)	フリガナ	メールアドレス	@
ご担当者	フリガナ	TEL	
携帯TEL		FAX	

品名			品番		
ご購入日 (年月日)			ご購入店	<input type="checkbox"/> Pa-man	<input type="checkbox"/> その他()
ご使用回数	回位	返却付属品			
お見積り	<input type="checkbox"/> 無償修理(3年保証期間内) <input type="checkbox"/> 必要		返送前連絡	<input type="checkbox"/> 必要	
	<input type="checkbox"/> 不要(修理代金が 円を超える場合は連絡希望)			<input type="checkbox"/> 不要	

症状、及び修理依頼内容について(専門用語を使用せず、具体的に詳しくお願いします。)

症状はいつ頃からですか?

症状発生の頻度は?

特記事項